



# 輝く 恵那人

245人目



大井町南栄町  
岩山 <sup>ひろと</sup>大翔さん (17歳)

### □プロフィール

恵那高等学校3年生。軟式野球部で副主将を務め、ポジションはキャッチャー。休日も中3と小5の弟と公園で野球をしたり野球ゲーム「プロスピ」で遊んだりして、野球漬けの日々を送る。好きな漫画は「ドラゴンボール」。中学生の頃は「スラムダンク」などのスポーツ漫画に熱中した。



▲甲子園球場でプレーする岩山さん

5月5日(月)に行われた全国高等学校軟式野球選手権大会70回記念春の軟式交流試合in甲子園。県で一人の出場枠に選ばれたのは、恵那高等学校の軟式野球部で副主将を務めた岩山大翔さん。高校軟式野球の歴史上で初めて、甲子園球場の舞台に立ちプレーをした。小学4年生から野球を始めた岩山さんが甲子園を夢見たのは5年生のとき。甲子園の試合を観戦し「いつかここでプレーしたい」と憧れを抱いた。中学校では野球部に所属し、3年の春からはキャッチャーとなった。高校進学の時、甲子園の夢を叶えるため硬式野球部のある高校と直前まで迷ったが、大学進学を見据えて硬式野球部のない恵那高等学校に進学。同校の軟式野球部に所属した。甲子園は夢のまま終わると思っていた。

同校の軟式野球部の部員は約20人。規模の大きなチームではなく、練習時間は1日2時間と、他校に比べて圧倒的に短い。そんな限られた練習時間を大切に、効率と質を重視し、つなぐバッティングや岩山さんの強みでもある守備を磨いてきた。昨年11月、練習の成果を発揮し、同部が秋の東海大会で見事優勝。静岡商業高等学校との決勝戦では、フォアボールからの送りバント、盗塁、たたきというつなぐ攻撃で1点をもぎ取り勝利。岩山さんは「仲間のおかげでつなぐ優勝」と振り返る。

## 軟式球児、夢の甲子園へ 高校軟式史上初 甲子園の舞台に立つ

同大会などの活躍が評価され、甲子園での記念大会に選ばれた岩山さん。「全国の選抜選手らはみんな野球への思いが強くてうまかった。そんな場で戦えたことが自信になった」とほほ笑む。

6月で部活を引退した岩山さんは数学教師を目指し受験勉強に励んでいる。「勉強のイメージが強い恵那高も、部活に本気で向き合う仲間がたくさんいる。恵那高や軟式野球部をもっと知ってもらいたい」と、母校への愛を胸に未来へ向かって大きく羽ばたいていく。

# News & Topics

まちのわだい

市のホットなニュースを紹介!

その他の話題はこちらから▶



6/21 昭和百年記念事業  
いわむら提灯巡り

いわむら提灯巡りのオープニングイベントに約1,000人が訪れ、提灯で赤く染まった城下町を楽しみました。本提灯巡りは8月17日(日)まで行われます。



6/1 めざそう!健康寿命日本一  
2025 健幸フェスタ in えな

まきがね公園一帯で健幸フェスタが開催され、約8,000人が訪れました。さまざまなブースが企画され来場者らは楽しみながら健康を見つめ直しました。

1日に必要な野菜量350グラムを当てるクイズに挑戦!



6/8 一致団結!  
消防操法大会

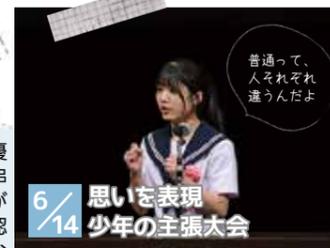
恵那スケート場で操法大会が開催され、市内12隊が操法を披露しました。本年は武並分団が見事優勝。10月26日(日)の県大会に市代表として出場します。



6/7 田の神様  
ともしび祭り

豊作を願い、坂折棚田(中野方町)でともしび祭りが開催され、約450人が訪れました。水田にろうそくの明かりがゆらめき、幻想的な雰囲気になりました。

受賞おめでとうございます! ☆



6/14 思いを表現  
少年の主張大会

第21回市少年の主張大会で最優秀賞を受賞した三宅さくらさん(申原中学校3年生)。「その人らしさが光る世界へ」をテーマに、違いを認め合うことが生きやすい社会につながると、力強く語りました。

第13回みどりの社会貢献賞を受賞した御銀の森コーポレーション。同社の「再生・循環・新しい豊かさ。100年の森づくり計画」の活動が高く評価され、県内企業初の受賞となりました。



6/20 県内初!  
みどりの社会貢献賞